

広報 西川

縮刷版

平成16年9月

）

平成26年8月

西川町



発刊にあたって

西川町長

小川一博

今年、昭和二十九年十月一日に、西山、川土居、本道寺、大井沢の四か村が合併して西川町が誕生してから、六十年を迎える記念の年です。

これまで、わが町は、多くの先人たちのゆるぎない情熱とたゆまない努力、そして町民のみなさんのご理解とご協力によって確かな歩みを続けてきました。月山を核とした観光の充実、月山自然水の販売など、地域資源を活用したまちづくりを展開してまいりました。また、国道一一二号月山花笠ラインの開通や寒河江ダムの完成、高速交通網として東北横断自動車道酒田線の開通、光ファイバーによる高速情報通信網の整備、統合小学校の建設など、社会資本の整備が大きく前進してまいりました。

しかし、現在の本町を取り巻く社会経済情勢は、大きな変革期を迎え、人口減少と超高齢化社会に加え、経済の地域格差の拡大や地域コミュニティ存続の危惧などによる地域活力の低下が懸念されています。今後は、山村自治体として“存続”をかけてまちづくりに取り組んでいかなければなりません。

このような状況の中、総合的・効率的な行政経営を行うため、中長期的な展望に立ち、これからのまちづくりの経営戦略となる「第六次西川町総合計画」を策定しました。

今年度は、町制施行六十周年、還暦にあたる誠に意義深い年であります。この六十周年を記念して、わが町のこれまでの歩みと発展の姿が記録された「町報西川」(NETWORKにしかわ)を縮刷版として発行し皆様にお届けするこ
とになりました。

平成十六年九月の第五百七十四号から平成二十六年八月の第七百一号までをまとめたものですが、変ぼうする町の姿をご理解いただくとともに、歴史資料として広くみなさんにご活用いただければ幸いと存じます。

今後も、さらに西川町の発展のためにご理解とご協力をお願いし、町民主体のまちづくりをみなさんと共に進めていくための基礎資料として生かされることを願っています。

平成二十六年十月

もくじ (年表)

平成16年(2004年).....1

- ・大相撲秋場所で懸賞旗にて「月山自然水」をPR(9月)
- ・町制施行五十周年記念式典開催(10月)
- ・名譽町民第一号に横山万藏元町長(10月)

- ・「道の駅にしかわ」が月山銘水館に移転(11月)
- ・町道間沢海味線と西川せせらぎ団地が完成(10月)

- ・第一回大井沢秋まつり開催(10月)
- ・まちづくり講座スタート(10月)

- ・西山小学校、水沢小学校で創立百三十年式典開催(10月)
- ・大井沢自然博物館五十周年記念「自然学習フォーラム」開催(11月)

- ・横山万藏元町長がご逝去(12月)
- ・西川せせらぎ団地若者定住促進宅地購

- 入補助金交付(1月)
- ・西川町野球連盟が五十周年記念事業を開催(2月)

- ・月山ふるさと大使制度の創設(3月)
- ・月山湖がダム湖百選に認定(3月)

- ・山ノ内南珍町立病院院長が定年退職
- ・海味コミュニティ施設(海味公民館)完成(4月)

- ・小山地区で自主防災組織を設立(4月)
- ・第一回小学校学区再編町民検討委員会開催(4月)

- ・第二回小学校学区再編町民検討委員会開催(5月)
- ・第三回小学校学区再編町民検討委員会開催(6月)

平成17年(2005年).....47

- ・大井沢温泉館が利用者十万人を達成
- ・月山湖花火大会が休止(7月)

- ・第四回小学校学区再編町民検討委員会開催(7月)
- ・第五回小学校学区再編町民検討委員会開催(8月)

- ・外国語指導助手(ALT)のジョナサン・ミュネッツ(Jonathan Munez)が一年間の勤務を終え、母国アメリカに帰国(8月)
- ・外国語指導助手(ALT)のチャールソン・デル・ロザリオ(Charleson Del Rosario ニックネーム「チャック」)がアメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルス出身)さんが赴任(8月)

- ・町立病院で院外処方を開始(11月)
- ・米国のコロラド州フリスコ町訪問団が来町(9・10月)

- ・第六回小学校学区再編町民検討委員会開催(9月)
- ・水沢温泉館で入館者百万人を突破

- ・国勢調査を実施 人口 六、九一七人一、九六〇帯(10月)

- ・国勢調査を実施 人口 六、九一七人一、九六〇帯(10月)

- ・国勢調査を実施 人口 六、九一七人一、九六〇帯(10月)

- ・国勢調査を実施 人口 六、九一七人一、九六〇帯(10月)

